横浜市長当選の山中氏、IR撤回明言

カジノ残る候補地の思惑

観光施策として、国が進めてきたカジノを含む統合型リゾート（IR）の誘致。横浜市長選で反対を訴えた野党系候補が当選したことで、横浜市は撤回する見通しとなった。誘致に名乗りを上げていた西日本の3都市は、この結果をどう受け止めたのか。

名乗りを上げているのは大阪府・市と和歌山県、長崎県だ。

「選挙結果を市民がどう受け止めるかを注視する。手続きは粛々と進め、反対の市民にも理解を得られるよう努めたい」。長崎県佐世保市の担当者はこう語る。同市のテーマパーク「ハウステンボス」への誘致に向け、同県は運営事業者を絞り込み、月内にも正式決定する予定だ。

これに対し、中止を訴える市民団体の新木幸次事務局長は「誘致断念を求める民意の表れ。全国に広げたい」という。

大阪市湾岸部の人工島「夢洲」への誘致を目指す大阪。吉村洋文知事は「大阪に影響はない。横浜市長選の（争点の）中心はコロナ対策ではないか」。大阪市の松井一郎市長も「横浜市がどう判断しようと、世界最大のエンターテインメントの拠点を大阪に作る。観光立国・日本の中心となるのが大阪だと捉えている」と語った。

事業者として応募するのは米企業とオリックスの連合体で、総額1兆円規模の投資をする内容だ。

和歌山県は7月、和歌山市の人工島「和歌山マリーナシティ」への誘致に向けて、カナダの投資会社グループを事業者に選んだ。横浜撤退の方針に県幹部は「選ばれる可能性は高くなった」。一方で業界内では「関西に2カ所もいらない。規模で劣る和歌山は不利」との見方も。「国はIRを認める地域をいったん1～2カ所にとどめ、首都圏に整備する余地を残すのではないか」との声も聞かれる。

そして名乗りを上げていない東京都。IRのメリットの有無を調べる事業は2019年度で止まっている。かつて石原慎太郎知事が誘致を唱え、国内のカジノ解禁論の発端となった。ただ、小池百合子知事は消極的とされる。

新型コロナにより経済は疲弊。都庁内では景気回復の起爆剤にとの声もある。首都圏の候補地としての期待も高まりうるが、ある都幹部は、コロナ対策に税金を投入する現状を踏まえ、「いま誘致に乗り出す可能性はほぼない」と話した。

横浜市長選で初当選した山中竹春氏(48)は23日、取材に改めて「IR誘致の撤回について手続きを進めていく」と述べた。横浜市はすでに調査分析や事業者公募、市民説明会などの推進事業費に計約10億円を予算計上。近く事業予定者を選定する予定だったが、これが中止されれば、誘致は「自然消滅」となる。

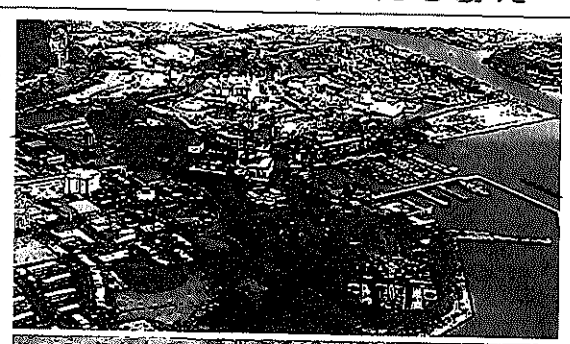
もともと横浜市民の反発は強く、ギャンブル依存症などへの懸念に加え、カジノ収益の見通しなども市が示さず、財政的なメリットの有無も不透明だった。朝日新聞が実施した投票後の出口調査では賛成が26%、反対は71%だった。

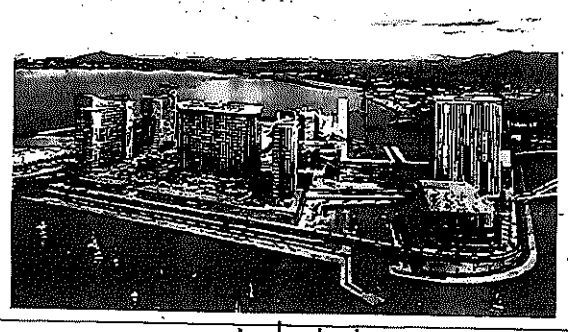
こうした結果を踏まえ、健全なカジノ産業のあり方を調査研究する国際カジノ研究所長の木曽崇さんは「IRの是非が争点となれば、撤回されることがあると示された」とし、「他の候補地でも選挙になれば、推進派は厳しい状況になる可能性がある」と話す。

調査や公募など 市は10億円計上

■IR開業までの流れ

2020年12月	開設地の選定基準などを定めた基本方針を決定。誘致を表明していたのは横浜市と大阪府・市、和歌山県、長崎県
21年8月	横浜市長選で誘致の中止を明言していた山中竹春氏が初当選
21年10月～22年4月	自治体の誘致申請を受け付け
22年4月以降	国土交通相が開設地を最大3カ所選定。選ばれた自治体がIR事業者と開設準備
20年代後半	IRが開業





（上）長崎県がハウステンボス内に誘致を目指すIR候補地＝2020年、佐世保市、本社ヘリから
（中）大阪・関西万博やIR予定地の夢洲＝2020年、大阪市此花区、本社ヘリから
（下）カナダの投資会社「クレアベストグループ」が和歌山県に提案したIRのイメージ図＝県提供

政府強調の効果目減り

横浜市がIRから手を引くことになれば、政府が強調してきた訪日客誘致の起爆剤としての効果は大きく目減りすることになる。国の基本方針では、IRの開設地は最大3カ所としており、横浜の撤退で、ほかの3候補地の認定が固まれば、首都圏にはIRがないことになるからだ。

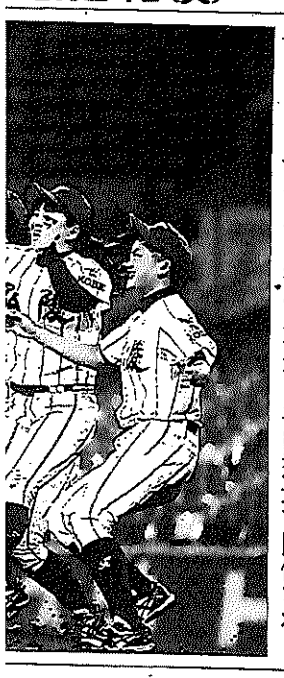
政府関係者は「訪日客が集中する東京周辺で誘致できないなら、開業できても効果はがくんと落ちる。横浜の撤退は想定外だ」と話し、戸惑いを隠さない。

IR事業は、菅義偉首相も官房長官時代から後押ししてきたが、現職の国会議員の汚職事件や新型コロナウイルスの影響で、計画が思うように進んでいないのが実情だ。

昨年末には自治体の準備の遅れなどから、自治体からIR誘致の申請を受け付ける期限を当初予定より9カ月延期し、今年10月～来年4月28日に変更。想定する開業時期も「20年代半ば」から「20年代後半」に遅らせた。感染収束のめどが立たないなか、計画がさらに遅れる可能性もある。

コロナ禍でIR事業者の業績も悪化しており、横浜市以外の3候補地の計画が円滑に進むかも不透明だ。

（木村聡史）



女子初の甲子園決勝 神戸弘陵V

第25回全国高校女子硬式野球選手権大会（全国高校女子硬式野球連盟、兵庫県丹波市主催、朝日新聞社後援）の決勝が23日、初めて阪神甲子園球場で開催され、神戸弘陵（兵庫）が4―0で高知中央を破って5年ぶり2度目の優勝を果たした。創部3年目の高知中央は初の頂点に届かなかった。

▼スポーツ面＝試合詳報

試合は7イニング制で行われた。神戸弘陵は二回に二つのスクイズなどで4点を先制、日高結衣（2年）、島野愛友利（3年）両投手の継投で無失点に抑えた。

大会は7月24日に開幕。今月1日の準決勝までを兵庫県丹波市で開催した。新型コロナウイルス対策のため、入場は保護者や在校生などの学校関係者に限られた。甲子園球場での決勝開催は、女子野球の人気の高まりを背景に、日本高校野球連盟、全日本女子野球連盟などが意見交換を行い、阪神甲子園球場の協力もあって今年4月に決まった。

けがの主将を「聖地」で結束

こう言った。

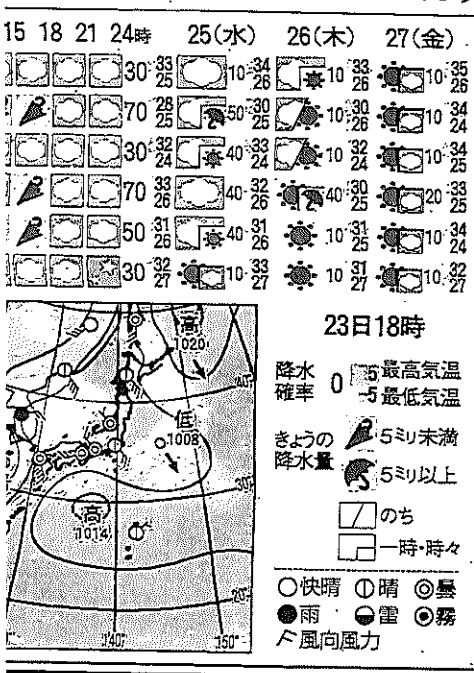
「野球は一人でやるスポーツじゃない。みんなで力を合わせれば楽しい。みんな、今日はありがとう」

（高橋健人）

軟式あす開幕

男子2年ぶり

第66回全国高校軟式野球選手権大会（日本高校野球連盟主催、朝日新聞社、毎日新聞社など後援）は25日、[illegible]



天気はデジタルでも

特集
参考！あの人、素敵って
今旬ウィッ
魅せます！ショートから
注目のシルバーヘアも
Before
ウィッグカ
ご自宅に
無料で
『メリー・ポピンズ』『レ・ミゼラブル』のプロデューサーが新演出版で贈る超大作ミュージカル！
CAMERON MACKINTOSH'S production of LIONEL BART'S
Oliver!
"I'M REVIEWING THE SITUATION"